

第33回 児童造形教育研究集会 申込書

氏 名		実技研修 (希望コース)	
自宅住所 〒		A ・ B	
TEL. ()		C ・ D	
勤務先	都・道 府・県	教職経験年数(年)	小学校 TEL. ()
※子ども同伴の場合			
子ども氏名(年齢)	(才)	(才)	
()人	(才)	(才)	

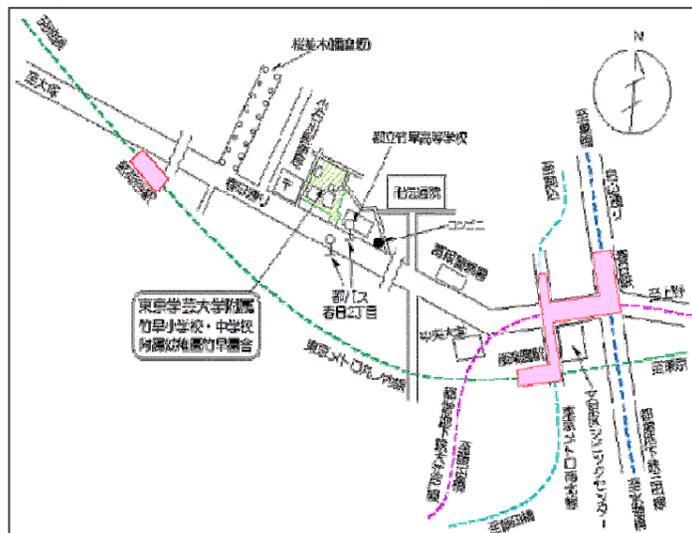
- 参加費
5,000円(資料代・材料費含む)
- 定員 130名
(定員に達した時点で締めきらせていただきます)
- 申込方法
申込書に必要事項を記入し、参加費を添えてお申込み下さい。
参加費は、現金書留または郵便振替でお願いします。
(郵便振替口座番号:00170-1-254931)
- 申込み・お問い合わせ先
〒111-0051
東京都台東区蔵前3-20-2 クレパスビル内
児童造形教育研究会 事務局
TEL.03-3862-3937 Fax.03-3862-3906
メール tayagaki@craypas.co.jp
- 講師

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ・安倍 啓斎(台東区立平成小学校) | ・中村 哲夫(西東京市立向台小学校) |
| ・石賀 直之(鶴見大学短期学部) | ・橋本 光明(信州大学) |
| ・大泉 義一(横浜国立大学) | ・平田 智久(十文字学園女子大学) |
| ・堀井 武彦(武蔵野市立第五小学校) | ・長尾 宏一(戸田市立芦原小学校) |
| ・林 耕史(群馬大学) | ・北川 智久(筑波大学附属小学校) |
| ・名達 英詔(北海道教育大学旭川校) | ・桐山 卓也(東京学芸大学附属竹早小学校) |
| ・板橋 利行(蕨市立中央小学校) | ・依田 淳子(さいたま市立つばさ小学校) |

*住所等は、外部への持ち出し、研究会との連絡以外には使用いたしません。

キリトリ

- 会場のご案内
- ・東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩12分
- ・東京メトロ南北線、丸ノ内線 後楽園駅 徒歩15分
- ・都営地下鉄大江戸線・三田線 春日駅 徒歩15分



- ・一般駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・お弁当をご持参されるか又はその他駅周辺でも昼食をとれるお店があります。

第33回 児童造形教育研究集会

図工で培う子どもの力

— 子どもの活動から見る新学習指導要領 Part II —



— 昨年の研修会の様子から —

と き : 2009年 8月7日(金)

受付 9:00 開始 9:30

と ころ : 東京学芸大学附属竹早小学校

東京都文京区小石川4-2-1 03(3816)8943~8944

主 催 児童造形教育研究会
後 援 財団法人 教育美術振興会
協 賛 株式会社 サクラクレパス

各幼稚園、保育園長 様
各小学校長 様
図画工作科主任 様
各学年学級担任 様

児童造形教育研究会
会長 長尾 宏一

本研究集会には、毎年全国各地から多くの先生方にご参加頂き誠にありがとうございます。今回は主テーマを「図工で培う子どもの力」とし、「子どもの活動からみる新学習指導要領」をサブテーマに、当会メンバーでもあり、小学校学習指導要領解説図画工作編作成協力者の2人を中心としたパネルディスカッションと実技研修を企画いたしました。

新学習指導要領は、子どもたちのどんな力を培うことを目指しているのか。図画工作科は子どもたちにどんな力を付けることができる教科なのかを改めて探ることにより、これからの未来を生きる子供たちの力を育む造形教育のあり方を考えてみたいと思います。

今回も、学芸大学附属竹早小学校を会場とする運びとなりました。空調施設も整った学校で、図工室も活用でき、すばらしい環境で行うことができます。是非、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。お会いできることを楽しみにしております。

★日程と内容 受付 9:00～

9:30	全体会	開会あいさつ（子どもコーナー開始）
	【シンポジウム】	「小学校学習指導要領解説作成協力者」が語る！ －【共通事項】誕生の背景と具体的指導ポイント－
	パネリスト	小学校学習指導要領解説図画工作編作成協力者 石賀 直之（鶴見大学短期大学部） 大泉 義一（横浜国立大学）
		進行 堀井 武彦（武蔵野市立第五小学校）
11:00	実技研修会（午前）	昼食（11:50～13:00）
13:00	実技研修会（午後）	ざっくばらん討論会（終了16:00）
16:30	後片付け・散会	

○ 実技研修について

好評の実技研修ですが、今回も、午前中からたっぷり研修していただけるように時間を設定しました。楽しく実技をする中で、参加されている全国の先生方と図工のみならず、学校の様子などの情報交換をし、交流を暖めていただければと思います。

※お子さま同伴の場合は、全体会の間「子どもコーナー」を設けます。
子どもコーナー参加費（材料代・保険料を含む）お子さま一名＝1,000円

○ 持参するもの

- ・ エプロン、タオル、はさみ、カッターナイフ、筆記用具等
 - ・ 実技研修の作品をお持ち帰りいただくための手さげ袋をご用意ください。
- ※やむを得ずご欠席の場合は、代わりの方のご参加をお願いいたします。（会費はお返しできません）

★A～D のコースの中から一つを選んでいただきます。

領域	研修テーマと活動内容	担当
Aコース < 自分でみつける >		
絵・立体	「 絵の具を使って自分でみつけることの意味を考えよう。 」 ☆「その1 絵の具でかくこと再発見」下描き文化の絵画教育にも申す！？みてかくことの意味など絵の具そのものの理解も含め深く考えます。☆「その2 ねん土と絵の具で表現する楽しさを！」ねん土と絵の具を使って、いろいろな表現方法を試してみませんか？意外な発見や驚きがあります。	石賀 中村
鑑賞	「 ひそんでいる〇〇（低中学年）/学校の住人（中高学年） 」 「鑑賞」というと何をイメージしますか？「美術作品」「美術館」・・・？でも子供たちは「すでに鑑賞の世界に生きて」います。例えば、身のまわりにひそんでいる○・△・□を探してみる。そこに居そうな生き物をイメージし、作りだして置いてみる。すぐそこにある環境には、鑑賞のきっかけや対象がたくさん存在していることを感じてください。	大泉
Bコース < 友だちとのかかわり コミュニケーション >		
造形遊び	「 これが絵の具の魅力 」 小学校や中学校で使っている絵の具の使い方と、幼児が保育所や園で使っている姿は全く違います。それに気付くだけでも新世界です。	平田
造形遊び 立体	「 カラフルスティック・ワールド 」 「図工は一人で追求するもの」という先入観をもっていないですか？ 友達がいるからこそできる造形活動は、コミュニケーション力をはぐくむ絶好の機会。ここでは、単純な材料なのに友達との協力で多彩な表現を生み出す題材を提案します。立体をつくるだけでなく、空間全体を生かすインスタレーションへと発展するワクワク感を味わってください。	安倍 林
Cコース < 経験を活用する >		
造形遊び	「 紙ばこをつかって 」 はさみで紙を切る。経験を生かして思い通りに切った結果、思いがけない形が生まれる。もっと紙を切りたくなる。もっと工夫したくなる…。今回は、少し厚手の容器を切り開いたり再構成したりして遊んでみましょう。1ℓパック（切り開いていないもの）、ティッシュの箱などをいくつかご持参ください。ハマりますよ。	北川
絵	「 感じたままに 花 」 絵の具やクレヨン・クレパスなどの経験を活用して、アクリル絵の具で思い切り、大胆に花を描きます。自分の好きな色をもとにして、他の色との混ぜ具合で中間の色がたくさんできます。中間の色で表す美しさ、そこにマッチした色を加える面白さなど、子どもの色に対する興味・関心を高め、感性を豊かにすること間違いなしです。	長尾 板橋
Dコース < ものの感じ方・見方・考え方を広げる・深める >		
鑑賞	「 子ども目と教師の目 」 子どもの思いに寄り添った授業の創造をめざすために、子どもの作品等の鑑賞を様々な手法による演習を通して、子どもの目（ものの感じ方・考え方）と教師の目（考えを広げ、深めるための支援）について考えます。主に「ギャラリートーク的手法」「カードによる分類法」「マトリックス法」等、昨今の教育現場ではお馴染みの活動を取り上げます。	堀井 依田
絵	「 いろいろなもので描いてみよう！ 」 筆だけではなく、いろいろなものを使って絵の具を塗っていきます。例えばスポンジ、ローラー、ストローなど、身近にあるもの。指や足だって描けます。いつもと違った道具で描くことによって画用紙の上には新しい世界が広がっていきます。	桐山

ホームページには過去の大会の写真が満載!! どうぞらんください。

児童造形教育研究会

検索

<http://www.geocities.jp/jizouken/index.html>